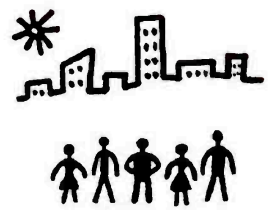


2009年にスタートした「がん対策推進企業アクション」は、企業におけるがん検診受診率の向上と、がんになっても働き続けられる職場環境の構築をめざす厚生労働省の国家プロジェクトです。

7月、推進パートナー企業・団体数がついに3000社の大台を突破し、パートナー企業の従業員総数は750万人に達しました。750万人というと、日本国内の就業人口のおよそ11%に相当します。3000社のうち、企業規模別では55%が大企業ですが、半数近い45%は中小企業です。都道府県別では東京都が一番多く、続いて大阪府、京都府、愛知県、岡山県、神奈川県が続いています。今年

## がん社会 を診る

中川 恵一



イラスト・中村 久美

# 対策進める企業国も後押し

度も3000社の新規パートナーの加入を見込んでいます。企業アクションでは、全国各地でがんについての啓発セミナーを開催する他、個別の相談にも応じています。がん

対策に積極的に取り組んでいる企業・団体を選定・表彰する企業表彰制度も15年度から導入しており、ワコール、大和証券、伊藤忠商事、ヤフーの各社が「厚生労働大臣賞」

加わってもらい、11年間、毎月、活発な議論を交わしてきました。生稲さんには今年度の啓発ポスターにも登場してもらっています。昨年末にぼうこうがんを罹患（りかん）

を受賞してきました。パートナー企業の社員に無料配布する小冊子「がん検診のススメ」は私が執筆したもので、11年間の累計発行部数は300万部を超えました。

「がんを知る」ことは、この病気から身を守るために最も大切なことです。企業アクションでも「大人のがん教育」を重要な課題としており、18年度からは専門医やがん経験者を企業へ派遣する「出張講座」も行っています。

また、パートナー企業が自主的に集まり、それぞれの取り組みや経験などを共有しながら、パートナー企業全体を先導する「企業コンソーシアム」も発足しています。国の事業ですから費用もかからず、マイナスは見当たらない企業アクション。あなたの会社は参加していますか。  
(東京大学病院准教授)